

地域と学生を“お仕事”でつなぐ

～小さな力で地域貢献 in 八王子～

団体名 創価大学文学部 西川ゼミ まがり
代表者名 藤原 笑里

1. 事業内容

本事業の主な目的は、地域のニーズと学生の隙間時間を絡めたボランティア活動やインターンシップ、アルバイトなどのマッチング事業(=お仕事化)をすることで学生が八王子に貢献し、学生の居場所や社会とのきっかけを作ることである。

この目的を達成するため、学生のニーズと地域のニーズをマッチングする「お仕事化」の実践と、「お仕事化」を支え、普及につなげるための学内外のイベントへの参加、企画・実施の2つを基本活動にしている。

2. 実施報告

2-1. お仕事化の実践

お仕事化の実践は、①ニーズ調査、②募集、③実施、の3点である。そして、実施した仕事の業務内容等をまとめたマニュアルを作成。以下お仕事化の過程について説明する。

① ニーズ調査

大きく分けてニーズ調査は2点ある。1つ目は、地域のニーズ調査である。学内の研究発表会(11/13)の一環で域の方3名にインタビュー調査を行った。この調査を通して地域が学生の力に大いに期待している事がわかり、学生の有用性を証明することができた。2つ目は、学生のニーズ調査として地域のニーズをマッチングさせるために、八王子市自立支援課の職員の方との協議を7/8、12/11の計2回実施した。7/8の協議で出てきた、大学周辺の保育園と老人ホームでのアルバイトを出発点にして、施設で

の「お仕事化」の実践を開始した。12/11の協議では、八王子商店会会長にも参加していただいた。

② 募集

「まがり公式インスタグラム」、LINE等のSNSの活用、寮、後輩、サークル等の学生に声かけを行い、老人ホームや保育園でのアルバイトの募集を行った。

③ 実施

実施については、大きく分けて2つある。1つ目は、多摩特養老人ホーム、光明第3保育園でのアルバイトである。多摩特養老人ホームでは、6名の学生が毎週火曜日の隙間時間でアルバイトを実施。保育園では、1名の学生が毎週月曜日と土曜日にアルバイトを実施し、さらに後輩も3月から保育園でのアルバイトを実施する予定である。2つ目は、「まがり写真部」である。この活動は、光明第3保育園で、園児の日々の生活を写真にとってSNSで発信する活動である。



多摩特養老人ホームでの様子

2-2. マニュアル作成

アルバイトをさせていただいている多摩特養老人ホームと光明第3保育園での業

務内容を学生視点でまとめたマニュアルを作成した。福祉、介護業界でしか使わない業界用語を福祉を学ぶ学生により平易な言葉で表現するなど一般の学生でもわかりやすく親しみやすいマニュアルを作成。今後も事業を円滑に継続するために、学生が実際に働いている様子や施設職員の方の声を入れた業務マニュアルを作成した。



業務マニュアル

2-3. 学内外のイベントへの参加、企画・実施

お仕事化の活動を支え、普及するために地域での行事に参加したり、学内・外のイベントを企画・実施した。具体的に行った活動については、表 1 を参照されたい。この表は、活動名、実施日、場所、参加人数、活動内容を時系列でまとめた表になっている。

(表 1)

活動名	活動内容
七夕祭り 日時：7/6,7 参加人数：10名	八王子駅前に飾る短冊を作成、輪投げコーナーの手伝い、浴衣を着ながらアルバイト、人力車体験
語り場 日時：9/25 参加人数：11名	うつ病等の疾患当事者を中心に農作業を行いやりたい事や生きる力を身につける団体「ルーツ・ユアセルフ」の宮崎雄平様をゲストスピーカーとしてお招きした。東京薬科大学、多摩美術大学の学生も参加
古本祭り 日時：10/12,13 参加人数：10名	昨年の「まがり書店」から「まがり商店」へ発展し、学外3団体と共同出店予定であった。しかし、当日の台風の影響でNPO法人ルーツ・ユアセルフとのみの出店になった。
つながりづくりワークショップ 日時：10/25 参加人数：18名	今までの活動を通してできたネットワークをさらに広げていくため、一般社団法人リュウケの井田様、NPO法人ルーツ・ユアセルフの宮崎様、八王子市自立生活支援課の遠藤様、八王子市議会議員の及川様、コンソニアム八王子の鎌田様をお招きした。
「学生発！地域のプラットフォームへ～市民と共に歩いていくには～」 日時：1/23 参加人数：18名	地域を拠点として活動を行う創価大学伊藤ゼミ「哲学カフェ～学び愛」と共に、学内のコモンスペースを活用し学生に向けてそれぞれの団体の活動紹介と地域活動の意義について意見交換を行った。



つながりづくりワークショップの様子

3. 事業を実施した感想

本事業を実施しての感想を 2 点挙げ、その後に関後の展望について述べる。

1 つ目は、当初考えていたより地域には学生の力を必要としている人がたくさんいて、すべてに応えきれなかった点が挙げられる。次年度では、この点について迅速かつ的確に情報を裁く仕組みを検討していきたい。

2 つ目は、実際に学生の隙間時間と人手不足で悩む八王子の施設等とのマッチング事業が成功し、それらの成果をまとめマニュアルを作成することができた。マニュアルについて施設側は非常に喜んでくださり、自分たちの事業に自信がついた。次年度以降も事業の発展とともに改良を重ね、実用的な内容にしていく必要があると考える。

今後の展開については以下の 5 点を軸に活動を行うものとする。

- ・事業の発展に合わせたお仕事化マニュアルの改訂
- ・つながりづくりワークショップの定期開催
- ・地域の方との協議で提案された新たな事業を展開
- ・学内外の学生へ地域の魅力を発信
- ・他大学の学生を巻き込む仕組みづくり

